



1 山形市立第四小学校 学校教育目標

よりよい社会や人生を
ともに 切り拓いていく子どもを育てる

令和8年度

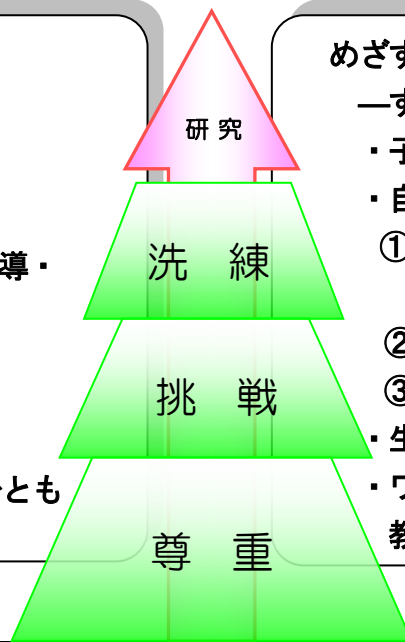
学校名 山形市立第四小学校
校長名
電話番号 623-6019
FAX番号 633-9321

心の豊かな子ども【徳】 Diversity Management =多様性を生かす	健康でたくましい子ども【心身】 Resilience =めげない・へこたれない	意欲的に考える子ども【知】 Problem-solving ability =問題解決能力を高める
多様な仲間と協力し合い、支え合いながら、よりよい生活をつくる子ども ◇共に生きるよさの実感 ○「責任をもつ」…自分事 ○「聴く・寄り添う」…尊重 ○「見渡す・気を配る」…公共性 ○「行動する」…主体性 勇気	心身の健康を大切にし、ものごとにねばり強く立ち向かう子ども ◇あきらめず立ち上がる <u>撓やかさ</u> の実感 ○「いのちを守る」…自他の尊重 ○「運動する」…整える 鍛える ○「よく働く」…責任 ○「自分で習慣を身に付ける」…自律	問いをもち、自ら知識や技能を身に付けたり活用したりしながら学び続ける子ども ◇学ぶ喜びの実感 ○「挑む・試行錯誤する」…主体性 更新 ○「見通す」…計画性 時間の管理 ○「選択する」…自己決定 ○「表現する」…発信

経営方針 地域とともに、すべての子どもと教職員が「安心」と「生きがい」を感じられる学校を創る

めざす学校の姿

1. 学校づくりの中心に研究を据えた学校
2. 伝統を大切にし、新しいことに挑戦する学校
(人権尊重・たゆまぬ挑戦・試行錯誤を重ねた洗練)
3. 一人一人の発達と特性に寄り添い、組織的な指導・支援を実践する学校
4. 保護者・地域とともに知恵と力を合わせる学校
(コミュニティ・スクール)
5. ワーク・ライフ・バランスの実現をめざす心身ともに健やかな教職員が創る学校



めざす教職員の姿

- すべての教職員ですべての子どもを育てる—
- ・子どもの学びを支え、ともに汗し、ともに歩む教職員
 - ・自ら学ぶ喜びを感じ、互いに育ち合う教職員
 - ①キャリアステージにそって、自分の課題を把握し、研修等を通して学び続ける。
 - ②お互いの個性を生かしつつ丁寧に合意を形成する。
 - ③学校教育の不易を流行の中で生かす(挑戦・洗練)
 - ・生徒指導の5つの場を常に意識する教職員
 - ・ワーク・ライフ・バランスを保ち心身ともに健康な教職員

2 経営の重点

1. 学校づくりの中心に研究を据えた学校

研究主題 つながりの中で学ぶ、しなやかな子ども —深い子ども理解を土台にした「教師の待ちと出」を探る— 6年次

- (1) 授業研究を軸に、あらゆる教育活動を通して、学校教育目標具現化に資する教職員のかかわり方を探究していく。
①12月の公開研究会等を柱として、学校経営と研究の一体化を図りながら、計画的・組織的に学校研究の推進及び発信を行う。
②幼・保・小の連携を強化し、「自立した学習者」を育てる観点から、「架け橋期」の活動を意識した研究・研修を進める。
- (2) 指導と評価の一体化を図り、汎用的な資質・能力の向上をめざす。(資質・能力の育ちを見通した系統的なカリキュラム・マネジメント、家庭や地域等との連携)

2. 伝統を大切にし、新しいことに挑戦する学校

- (1) 伝統的な活動を引き継ぎながら、四小らしい活動を、変化する社会を見据えたものに洗練していく。
①三大行事(いちよう大運動会・いちよう兄弟体験学習・いちよう音楽会) 限られた時間内での充実した活動を展開する。
②「音楽活動」の充実 いちよう音楽会・市吹奏楽発表会に向け、全校(学年)音楽集会を計画的に活用する。
- (2) SDGsの視点を大切にするとともに、ICTを効果的に活用した教育活動を展開する。(グローバルな探究活動、タブレット等の活用)

3. 一人一人の発達と特性に寄り添い、組織的な指導・支援を実践する学校

- (1) すべての子どもが大切にされ、安心してお互いの個性を発揮し合える学校をめざす。
①いちよう児童会を核とした心の育成…インクルーシブの考え方に立ち、生徒指導の場を生かす自治的・自律的活動を指導する。
②クルーズ班活動……自浄作用のある集団づくり、楽しみながら知り合う活動をめざす。(自ら、責任、計画、見通し、最後まで)
③学年部・学年の活動…学年部でリーダーとして育てる。(上学年の姿を見て育つ)
④スピード感のある丁寧な対応…いじめ調査アンケートを実施(6月、11月)し、問題解決、心のケアを素早く丁寧に行う。
⑤子ども支援委員会、子どもを語る会…定期的な開催で子どもの様子を全員で共有し、子ども一人一人の居場所をつくる。
- (2) 最悪を想定し、さまざまな訓練等を行う。もしもの場合には、緊急対応マニュアルに沿って迅速かつ適切に対応する。

4. 保護者・地域とともに知恵と力を合わせる学校(コミュニティ・スクール)

- (1) 地域・保護者とともにある学校を継承し、学校運営協議会を核として地域学校協働活動を推進していく。
- (2) 個別面談や学級懇談会、子育て講演会を教育課程に位置づけ、保護者と共通理解のもと子どもを育てていく。
4月 学習参観・奨学会総会 6月 個別面談、学習参観 10月 個別面談・通知表配付
12月 学習参観、子育て講演会 2月 学習参観 3月 通知表配付(子どもに)
- (3) 情報発信を大切にし、信頼される学校経営をめざす。(学校だより、学年学級だより、HPによるお知らせ、緊急メール)
・奨学会 ・同窓会 ・研学会 ・交対協 ・青少年健全育成 ・体育振興会 ・子育連 ・民生児童委員 ・学童クラブ 等

5. ワーク・ライフ・バランスの実現をめざす、心身ともに健やかな教職員が創る学校

「学校における働き方改革プラン」の重点を踏まえ、効率的かつ効果的な教育活動の実現を目指す教育課程の編成や日課表の工夫等について、教職員全員で研究を深める。